

備前市事務事業評価表

事業の概要		コード	01-03-01-01
事務事業名	県河川維持管理事業		根拠法令・要綱等
事業開始年度	昭和46年度～		
総合計画	大項目 基本目標	安全で快適に暮らせるまちづくり	問合せ先 担当課(室) 都市整備課
	中項目 基本施策	災害に強いまちづくり	職・氏名 管理係長 岸本豊弘
	小項目 施策	河川改修・砂防施設整備	電話 64-1833

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	地域住民
目的(何のために)	県管理の樋門等の管理を委託し、住民の安全を図る
行政活動(どのような方法で)	二級河川に設置された県管理の樋門等の管理委託事務及び維持管理補修要望事務
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	災害時等の被害を最小限にしたい

事業の実績					
活動実績	実施項目	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	樋門等設置箇所	箇所	18	18	18
	苦情件数	件	1	1	1
	直接事業費	千円	464	434	478
	人件費	千円	4,068	1,468	858
	事業費計	千円	4,532	1,902	1,336
	国県支出金	千円	400	400	400
	受益者負担	千円			
	一般財源	千円	4,132	1,502	936
	必要人員	人	0.47	0.16	0.09
結果指標①	結果指標名	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	管理箇所数	説明	18	18	18
	結果指標量	人	—	100.0%	100.0%
	対前年比	%	—	100.0%	100.0%
	活動コスト	円	4,532,000	1,902,000	1,336,000
	単位当たりコスト	円	251,778	105,667	74,222
結果指標②	結果指標名	説明			
	結果指標量	人	—		
	対前年比	%	—		
	活動コスト	円			
	対前年比	%			
	単位当たりコスト	円			

事業の成果			
成果指標名	苦情処理件数	式又は説明	樋門管理者からの苦情連絡に対応した件数
成果指標量	17年度	18年度	19年度
対前年比	1	1	1
	—	100%	100%
到達目標値	苦情件数ゼロ	到達目標年度	毎年

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

(平成19年度事業)

事務事業の評価		妥当性評価<A~E>	B
目的	関法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令)	課題認識	
	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である		
	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている		
対象	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化している	地域住民が安心して生活が送れるよう樋門の管理は必要である	
	<input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある		
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的を達成するためには、現在の行政活動以外に方法はない		
行政活動	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない	地域住民と連絡を取りながら、できる限り地域で管理してもらえるよう指導していく	
	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請の強い事業である		
	<input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与しなければならない事業である		
市の関与	<input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい	効率性評価<A~E>	B
	<input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である		課題認識
	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい		
コスト	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい	地域住民と連絡を取りながら、できる限り地域で管理してもらえるよう指導していく	
	<input checked="" type="checkbox"/> サービスを低下させずにコストを削減することは困難		
	<input type="checkbox"/> 受益者負担額を見直す余地がある		
効率性の評価	<input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない	有効性評価<A~E>	B
	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善に努めている		課題認識
	<input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある		
職場	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている	故障発生時に樋門管理者からの連絡に対し迅速に処理にあっている。	
	<input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている		
	<input type="checkbox"/> 事業実施について、職員の見解・要望が反映されやすい		
目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである	課題認識	
	<input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している		
	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである		
有効性の評価	<input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	市民参画度	
	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している		
	<input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している		
市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している		
	<input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている		
	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する		

平成20年度の状況		説明 引続き管理を委託している
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している	
<input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している	
<input type="checkbox"/> 見直し継続している	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了	
<input type="checkbox"/> 事業を縮小している		
目標値	結果指標量① 0	結果指標量② 0
成果指標量		

総合評価		評価区分 <A~E>	B	
地域住民が安心して生活するために樋門の管理は必要であり今後も引続き管理していかねばならない。				

平成21年度以降の方向性		<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 平成20年度で廃止・完了
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する)	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	
<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	
<input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	県への樋門修繕の要望	毎年	管理者の管理負担の軽減